

市議会だより さつて



さまざまなアジサイが美しく彩りました。



6月定例会のおもなことから

- ・令和3年度6月定例会議案 …………… 2～4 ページ
- ・各常任委員会での審査 …………… 5～7 ページ
- ・市政に対する一般質問等 …………… 8～14 ページ
- ・議員の役職一覧等 …………… 15 ページ
- ・議決結果の一覧・編集後記 …………… 16 ページ

No.99
2021年
8月

6月定例議会

令和3年度第2回幸手市議会定例会

一般会計補正予算を含む 市長提出議案24件を可決・承認・同意

6月定例会は、6月1日から22日間の日程で開かれました。市長提出議案は、専決処分の承認3件、条例案4件、令和3年度一般会計補正予算2件、人事案件15件の合計24件でした。審査の結果24件が原案通り可決・承認・同意となりました。また、請願1件は採決の結果、不採択となりました。

(議案第28号)

令和3年度幸手市一般会計補正予算(第1号)(専決第3号)

歳入、歳出それぞれ3778万円が追加補正されました。

国の新型コロナウイルス感染症対策として、低所得者の子育て世帯のうち、ひとり親世帯への「子育て生活支援特別給付金」の支給が盛り込まれました。国の支給要領等によると、可能な限り速やかに支給するとあり、4月12日付けで専決処分を行ったものです。

支給額は、児童1人当たり5万円、703人分を見込んでいます。

(議案第33号)

令和3年度幸手市一般会計補正予算(第2号)

歳入、歳出それぞれ2億5962万5千円が追加補正されました。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金やその他新型コロナウイルス感染症対策に関連する国県支出金を財源として、新型コロナウイルス感染症対策に関連する事業、子育て世帯生活支援特別給付金などの事業を行います。

子育て世帯生活支援特別給付金は、令和3年4月分の児童手当又は特別児童扶養手当を受給している方であって、令和3年度分の住民税均等割が非課税である者などを対象に児童1人当たり5万円を支給します。

新生児特別定額給付金は、令和3年1月1日から令和4年4月1日までに出生した新生児の保護者に対し、新生児1人当たり10万円を支給します。

(議案第49号)

令和3年度幸手市一般会計補正予算(第3号)

歳入、歳出それぞれ5771万9千円が追加補正されました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、生活が困窮している方の自立を支援するため、生活困窮者自立支援金を支給することになります。

対象者は、社会福祉協議会から貸し付けを受けている緊急小口資金総合支援資金の借入れが限度額まで達しており、一定の収入額・預貯金額以下の生活困窮世帯であって、就業活動等を行っていることが条件になっています。

支給額は月額で、単身世帯6万円、2人世帯8万円、3人以上の世帯10万円となっています。支給期間は、7月以降3か月間となっています。

また、この補正予算には、7月

(請願第1号)

国のエネルギー基本計画に関する件

請願趣旨

気候危機により人類の持続可能性が問われています。気温を2100年までに産業革命から15度以内の上昇に収めないと人類は生存できなくなると言われています。気候危機は私たちが人間が生み出している温室効果ガスが原因です。国に対して、脱炭素、脱原発を進め、再生可能エネルギー電力の割合を高める2030年エネルギー基本計画の改定を行うよう、意見書の提出を要望いたします。

この請願について、討論、採決の結果、「賛成少数」で不採択となりました。

令和3年6月定例議会
本会議議案質疑内容

(議案第26号)
専決処分の承認を求め
ることについて(専決第
1号)幸手市税条例等
の二部を改正する条例

質疑
固定資産税の負担調整措置に
よる市税収入における影響額
と、同様に、都市計画税収入に
おける影響額を伺います。

答弁
固定資産税の市税収入におけ
る影響額は、約1788万円の
減収となり、都市計画税の市
税収入における影響額は、約
343万円の減収となります。



(議案第33号)
令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第2号)

質疑
会計年度任用職員の配属先と
人数、また、業務内容とその財
源について伺います。

答弁
一般管理費で計上の会計年度
任用職員の配属と人数について
は、市民課に3人、税務課に3
人、農業振興課に1人です。

市民課の会計年度任用職員の
業務は、市民課で所管する事務
の補助、主にマイナンバーの交
付の補助と考え、財源は個人番
号カード交付事務費補助金とい
う国の補助金があり、100%
を充てる予定です。税務課の会
計年度任用職員は、主に来年の
確定申告の際に会場内のアル
コール消毒などの業務を主に想
定し、臨時交付金の対象と考え
ています。次に農業振興課の会
計年度任用職員は、農業支援の
補助金等の申請事
務の補助として、
臨時交付金の対象
と考えています。



質疑
備品購入費のうち機械器具費65
万4千円の内容を伺います。

答弁
新型コロナウイルス感染症対
策の一環として、次亜塩素酸水
を使用し、カウンターや来庁者
用の椅子等の消毒、除菌を行う
ため、次亜塩素酸水生成装置を
2台購入するための経費として
計上しました。

設置場所は、本庁舎に1台、
ウエルス幸手に1台、合計2台
を設置する予定です。

質疑
新型コロナウイルス感染症検
査業務委託料と検査費助成金の
内容について伺います。

答弁
新型コロナウイルス感染症検
査業務委託料及び検査費助成
は、新型コロナウイルス感染症
の拡大防止を図るため、保健所
や医師が必要と認め実施する検
査において、保険診療の自己負
担相当額を市が負担するもので
す。

委託料は、市が業務を委託す
る医療機関で検査を行った場合

に、自己負担額を受検者本人で
はなく市に請求いただくもので
す。次に助成金は、委託医療機
関以外の医療機関で行われた検
査で、受検者が支払った自己負
担額を後日に申請していただき
助成するものです。

具体的な対象経費は、初診料・
再診料及び院内トリージ実施
料、鼻腔咽頭ぬぐい液採取に対
する保険診療自己負担金です。
金額は保険診療の点数から算
定し、自己負担3割の方で17
80円であることから、委託料・
助成金ともに単価を1780円
とし、委託料は840人分、助成
金は1960人分と算出しました。

質疑
農林水産業費の補助金であ
る農業経営者支援事業費補助
金3174万9千円、農業経
営者支援事務費補助金50万円、
農業経営者支援金167万1千
円、農作物自動販売機購入費補
助金500万円等の補助金の支
援趣旨、内容、その方策を市長
に伺います。

答弁
補助金の趣旨は、新型コロナ
ウイルス感染拡大による米価の

下落や、外食産業の需要の減少により影響を受ける農家を支援するものです。

補助の内容として、農業経営者支援事業費補助金は、作付面積1千平米当たり3千円を補助するものです。交付に当たっては、補助金の申請手続業務及び農協の組合員に対する振込業務に係る事務費として、埼玉みずほ農協に対し農業経営者支援事業費補助金を、また、農協の組合員以外の方からの申請に対して交付する農業経営者支援金を計上しました。農作物自動販売機購入費補助金は、農作物の販路拡大と感染防止策として農作物用の自動販売機を購入する際の費用を補助するものです。

今回の農業者への支援を着実に進め、農地の集積・集約化や多面的機能支援事業等を推進することにより、当市農業の振興を図ってまいります。埼玉県や農協等の関係機関と連携し、取り組んでいきたいと考えています。



(請願第1号)
国のエネルギー基本
計画に関する件

賛成討論

海老沼 隆夫

国の次期エネルギー基本計画のままでは、温暖化はさらに進み、人間の生命も脅かすほどに環境が大きく変化深刻化し、大変危険です。

温暖化防止には、二酸化炭素排出を削減していく必要があります。

大手自動車メーカーの最近の動向でも電気や水素を使ったエンジン開発に、G7主要国首脳会議の中でも、カーボンニュートラル・脱炭素問題は、共通課題となつて来ています。OECD主要国で火力発電の期限を区切った廃止方針がないのは日本だけです。

福島原発事故から10年、今も溜まり続ける汚染水、処分できない危険なデブリ、解決できない問題が残り続けています。危険なリスクを伴う原発を、二酸化炭素排出防止のために、押し進める方向はあってはならないと考え、請願第1号への賛成討論とさせていただきます。

人事案件

農業委員会委員

矢島 清春氏	奥貫 進氏	増田 隆司氏	江森 正之氏	松島 政雄氏	田中 吉雄氏	山中 栄氏	大澤 年一氏	倉持 昭夫氏	熊谷 隆夫氏	野村美左緒氏	船川 由孝氏	鈴木 栄氏	増田 福重氏
--------	-------	--------	--------	--------	--------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	-------	--------

を任命することに同意しました。

固定資産評価員

手島 秀明氏

を選任することに同意しました。

表彰

全国市議会議長会、埼玉県市議会議長会の総会において、藤沼貢議員が特別表彰(議員在任20年以上)を、また、枝久保喜八郎議員、宮杉勝男議員、本田謡子議員、小河原浩和議員、松田雅代議員、木村治夫議員6名が、一般表彰(議員在任10年以上)を受けました。



総務常任委員会

幸手市税条例の一部を
改正する条例
(議案第29号)

問 個人の市民税の非課税の範囲に関する規定の整備とあるが、この目的はどのようなものか。

答 今回の改正については、令和2年度における税制改正にて、国外居住者の30歳から69歳までの方が扶養親族から外れるという改正がなされた。これに伴い、扶養親族という言葉が税法上で計算する控除対象扶養親族という言葉に改められ、これまでの扶養親族を明確化した改正となる。



幸手市固定資産評価審査
委員会条例の一部を改正
する条例
(議案第30号)

問 今回の改正で押印、署名が省略される書類はどのようなものか。また、これまで押印が必要とされていた印鑑の種類はどのようなものか。

答 幸手市固定資産評価審査委員会条例及び規程では、23種類の様式を規定しており、そのうちの6様式が押印、署名の省略となる。省略となる6様式は、いずれも審査の申出人に当たる納税者が、固定資産評価審査委員会に提出する際に、個人の印鑑を押ししていたものである。



令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第2号)
(議案第33号)

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金補助金の、2億1千325万円の積算根拠は。

答 国の交付基準に基づいて算出した。市町村は、1100円の基準額に対して、人口や事業所数、幼少人口、高齢者人口、及び補正係数等を掛けたものが交付額とし、国から示された上限額である。

問 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金補助金2億1千325万円は、幸手市がやりたい事業を積算して、エントリーしてもらった予算なのか。

答 国から上限額が示され、それに対して幸手市のほうで、自由度の高い交付金なのでその中から事業を選んで事業計画を申請していく。



問 次亜塩素酸水生成装置の購入にあたり、生成装置の管理や使用する原液の購入等の取り決めはどのようにされるのか。

答 生成装置に使用する原液は添加液というもので、市役所本庁舎分とウエルス幸手分を契約管財課で一括購入し、生成装置と併せて管理・活用をしていく。



▲次亜塩素酸水生成装置
(イメージ)

文教厚生常任委員会

令和3年度幸手市一般会計
補正予算(第2号)
(議案第33号)

問 公共交通事業者支援金の交付対象、内容は。

答 新型コロナウイルス感染症対策を講じる市内バス事業者及びタクシー事業者に、バス1台当たり5万円、タクシー1台当たり2万円を交付するものである。



問 民間保育所等補助金220万円の内容、保育所別補助金額は。

答 新型コロナウイルス感染症対策として民間保育所が対策用に購入する備品等に補助する。小規模保育事業所1園に対して30万円、認可外保育施設1園に対して40万円、私立保育所3園に対して1園当たり50万円を限度として、実績に応じて支出する。



問 新型コロナウイルス感染症検査費助成金に係る直近の検査人数、補助内容は。

答 県からは、令和3年5月末現在、北葛北部医師会、南埼玉郡市医師会が設置するPCR検査センターでの検査総数は2610件との報告を受けている。現在、検査費用は公費負担になっているが、保険診療分で自己負担が発生しているものがあり、それについて、上限を設けて市で負担するものである。



補助方法は、今年度4月1日以降検査した方には申告を受け付けて助成。また、今後検査を受ける方には、医師会を始めとする診療・検査指定医療機関への業務委託料に計上し補助するものである。

問 災害対策費の機械器具費582万2千円の内容は。

答 コロナ禍での避難スペース確保の点で、照明の補強を図るもので、

LEDバルーン型投光器を4基追加して5基に、投光器用の蓄電池5台、蓄電池を充電するソーラーパネル5台を購入する。また、保健福祉総合センターの非常用発電装置の蓄電池の交換を考えている。



▲LEDバルーン型投光器

問 学校教育費の3密回避対応工事の内容とは。

答 権現堂川小学校のパソコン教室の換気扇交換工事・コンピュータ教室の窓の更新工事、さかえ小学校廊下のカーテン設置工事・トイレの網戸交換工事など6件である。

問 郷土資料館、公民館、図書館ほか、社会教育施設の防虫ネット・網戸設置工事、トイレ改修工事の内容は。

答 網戸等の設置工事については、市民の方からの要望に対応するもの。トイレ改修工事は主に手洗いの自動水栓化を図るものである。

国のエネルギー基本計画に関する件

(請願第1号)

【請願項目】

1. 国は、次期エネルギー基本計画で、2030年度再生可能エネルギー電力目標を60%以上、2050年度は100%としてください。
2. 国は、巨大なリスクを抱える原子力発電は段階的に廃止し、石炭火力発電は段階的に2050年までに廃止してください。
3. 国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーを強力に推進する政策への転換を早急に進めてください。

意見 国際的に共通課題となりつつあるカーボンニュートラル、脱炭素、最近の自動車メーカーの脱化石燃料、水素エンジンへの転換などの動きから見た場合、この請願の願意は妥当であり、継続審査ではなく採択すべきと考える。

意見 福島原子力発電所の汚染水の処理もできずとの表現があるが、処理水の海洋放出は十分に安全基準を満たしている。また、石炭火力・原子力発電は段階的に廃止とするが、電力供給の代わりとなる提案が見られない。願意はわかるが賛意するには難しい。

建設経済常任委員会

幸手市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例（議案第32号）

問 災害時に職員が勤務時間以外に勤務した場合、管理職員特別勤務手当を支給することに至った経緯は。

答 平成27年度に一般会計分の管理職員特別勤務手当については、条例改正をした。この改正に準じ、今回、改正する条例を提出した。

令和3年度幸手市一般会計補正予算(第2号)（議案第33号）

問 トイレ改修工事の内容および業者選定は。

答 工事内容については、勤労福祉会館におけるトイレの洋式化および手洗い場の自動水洗浄化を行うものである。トイレの洋



▲施工前

式化は屋外トイレ、2階の男女一箇所ずつの計4箇所である。また、手洗い場の自動水洗浄は屋外トイレや多目的トイレそして1階および2階の男女トイレの計8箇所となる。その他として、トイレのドアや鏡、換気扇の一部の改修も行う。なお、業者選定については、設計業務並びに工事請負費ともに指名競争入札にて執行する予定で考えている。予算の積算根拠については、本庁舎のトイレの洋式化および手洗い場の自動水洗浄化を設計した業者から参考見積りを徴して積算をした。

問 農作物自動販売機構入費補助金の事業主体および生産物の販売内容は。

答 事業主体は、埼玉みずほ農業協同組合であり、市が自動販売機1台当たり250万円で計2台の500万円を補助するものである。また、農産物の販売については、四季折々の農産物を考えている。幸手市内の農業者の生産物を販売する。



問 ハッピーメール応援券事業における配布対象者および配布方法の内容は。

答 ハッピーメール応援券事業の配布対象は市民全員が対象となり、1人当たり一千円で世帯人数分の応援券を世帯主宛てに郵送する予定である。また、各家庭において諸事情がある世帯等も配慮し、市民課、人権推進

課とも連携をし、配布方法については、適切に対応して行く。

問 住宅リフォーム資金補助金の増額理由は。

答 当初予算で前期分・後期分として260万円計上した。1年度に2回、受付を実施した。当資金の補助は市民から好評をえており、今年度も前期分の受付で150万円分の受付を行った。後期分についても、市民の皆様の利用促進を考え、今回、補正予算で260万円計上した。なお、申請方法は前期分については順次、受付順にて行い、予算が終了した時点で受付を終了したが、後期分については、9月16日から一定期間の間で受付をし、受付順ではなく、抽選という方法にて検討している。



市政に対する

一般質問

今定例会では、11人の議員が6月2日、3日、4日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずぬもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

四本奈緒美議員

- こども食堂の活動に対する幸手市の取り組みについて
- 生理の貧困を抱える女性への支援について

坂本達夫議員

- 新型コロナウイルス感染症について
- 駅自由通路を避難場所に指定することについて
- 幸手駅西口の開発について
- 県道惣新田幸手線バイパスについて

小林啓子議員

- 幸手市職員への不妊治療に対する取り組みについて
- 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しについて

本田謡子議員

- コロナ禍における公共施設管理等の方向性について
- 新型コロナウイルス感染者に係る市のホームページ等の発表について

松田雅代議員

- 幸手市GIGAスクール構想の推進について
- 人口問題、移住・定住政策の推進について
- 附属機関等の市ホームページにおける議事録掲載の進捗について
- 企業版ふるさと納税PRの進捗について

大平泰二議員

- 新型コロナウイルス感染状況について
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制の拡大について
- 生活保護費支給について

小林英雄議員

- 幸手市公共施設について
- UR都市再生機構の土地活用について
- 「アスカル幸手」臨時駐車場の設置について

海老沼隆夫議員

- 新型コロナウイルス感染者拡大に伴う市の対応について
- 75歳以上の医療費2割負担について
- 核兵器禁止条約の成立について
- 危険な県道について
- 栄地区・幸手団地のエレベーターの設置他について
- 避難行動などによる要支援者名簿の件

青木章議員

- 幸手市新生児特別定額給付金事業について
- 「職員懲戒処分に対する公平委員会の裁決」の対応等について

枝久保喜八郎議員

- 土地利用に関する対応について
- 道路事情が地域コミュニケーションに及ぼす環境変化について
- 防災対策について
- 教育現場の現状について

武藤壽男議員

- 行政組織と職責と人事について
- 新型コロナウイルスワクチン接種について

6月定例会の議会運営について

幸手市議会においては、新型コロナウイルス感染症への対応を図るため、次の取組みを実施致しました。

- ① 「一般質問」の議員1人あたりの質問時間をこれまでの「45分以内」から「30分以内」に短縮。
- ② 本議会、委員会等における理事者の出席を最小限にし、出席者の座席の間隔を保持。
- ③ 本議会、委員会等では、マスクを着用。
- ④ 本議会場、委員会室では、概ね30分を目安に休憩を入れて、窓・扉を開放して換気を実施。
- ⑤ 議場、委員会室にアクリル板の設置及び空気清浄機を配置。
- ⑥ 傍聴席の座席の間隔を保持。(9席)
- ⑦ 消毒液の設置。

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ(インターネット映像配信システム)でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 6月定例会の会議録は9月上旬頃公開予定です。



坂本達夫議員

惣新田幸手線バイパス早期整備について

Q

県道惣新田幸手バイパスは、産業団地区間が整備済だが、その先国道4号バイパスまでが未整備である。

次の理由から早期整備が求められる。①この道路は、幸手の観光、経済、物流の活性化に繋がる。②現在の県道は、大型車両が増加し、騒音、振動の問題だけでなく、交通事故の危険性

A

市としても県道惣新田幸手線バイパスを整備することで、交通の利便性が向上し、現道の渋滞が緩和され、観光や経済の活性化に寄与すると考えている。



そこで、現在、市では、道路整備を促進する協議会設立の準備をしており、今後は埼玉県に対して、当該路線の未整備区間の早期整備を積極的に要望していきたいと考えている。
(建設経済部長)



四本奈緒美議員

「生理の貧困」を抱える女性に支援を

Q

経済的理由から生理用品を買えない女性がいる問題は「生理の貧困」と呼ばれ、長引くコロナ禍で顕在化し、社会的課題となっている。

この様な女性（児童・生徒・学生を含む）への負担軽減の支援が必要と考える。防災備品等の活用を含め、幸手市の見解と支援策について伺う。

A

経済的な理由で生理用品を購入できない「生理の貧困」については、女性や女性の健康という観点、あるいは、女性の女性としての尊厳に関わる重要な問題であると認識している。

については、先進事例の創意工夫などの情報収集を行い、近隣の市町の取組みを参考にして、防災備蓄品の活用や配布窓口の設置及び配布方法など、関係部署と調整を行い、生理用品の無償配布について実施する方向で検討している。
(総務部長)



幸手市職員への不妊治療に対する取組みは



小林啓子議員

Q 政府は不妊治療への保険適用を2022年度

当初から実施する方針を決めた。今後国として策定されるガイドラインを制度設計の具体化に生かす方向である。これを踏まえて、幸手市としても条例等の環境整備が必要になると考えるが見解を伺う。

また、事業所としての幸手市

役所がモデルケースを作成し、市内企業に対して率先して情報発信していくべきと思うが、幸手市としての考えを伺う。

A 幸手市役所では、職員

への不妊治療に対する支援策として、現在、不妊治療を受ける時に取得することができ「休暇制度」の導入について、検討している。

また、市役所が職員の仕事と不妊治療の両立支援などを率先

して推進し、モデルケースとして情報発信することは、市内企業への促進につながるものと考えているので、前向きに検討し、進めていきたい。

(総務部長)

公共施設利用報告書の一本化の検討を



本田謡子議員

Q コロナ禍の今、市の施設を利用する場合、その

時のコロナの状況によって「公共施設利用報告書」の形態が変わってくる。これは県の対応に準じているためである。

また、市の公共施設利用報告書は担当課によって違っている。このようなことから、緊急に利用基準が変わったとしても、こ

の報告書を一本化すれば、确实に対応ができ、また、市の施設がどこでも同じ報告書であれば、真の市民サービスに繋がると思うが、市の見解を伺う。

A 社会教育施設の施設

利用者報告書の表記については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じ、利用者の負担軽減、他の教育施設との表記の統一などを考慮し、その都度変更をして、現在は共通の表

記内容となっている。市のすべての公共施設の施設利用者報告書を共通の様式に統一することができるとかどうかについては、それぞれの施設によって利用目的や用途、形態等が異なるため、1つの報告書で対応できるかどうか、今後、内部で検討していく。

(教育部長)

人口問題、移住・定住政策の深化・強化を



松田雅代議員

Q 本年度から第2期幸手市まち・ひと・しごと創生総合戦略がスタートした。今年度新たに組み込む移住・定住政策を伺う。

また、同総合戦略策定に際し、意見として「二地域居住」という新しい指標設定を提案し、「調査研究の対象とする」との回答を得ている。その後の調査研究

の進捗を伺う。

市民生活の激変緩和と時代に合った構造的なまちづくりが自治体経営に求められる中、総合戦略のベースとなる人口動態の分析を強化すべきではないか。

A 移住・定住政策は、総合戦略の基本目標に掲げた取組内容以外には、現在のところない。

二地域居住については、本年3月に設立された「全国二地域

居住等促進協議会」の動向等を踏まえながら、引き続き調査研究を進めていく。

また、市民意識調査等の分析を経て今年度スタートした第2期総合戦略は全庁横断的な体制をもってその遂行にあたっていく。今後も人口動態の推移等を高いレベルで共有し得るよう庁内意識の醸成に努めていく。
(総合政策部長)

新型コロナウイルス感染者について



大平泰二議員

Q 幸手市の1例目から現在までの感染者自宅療養、宿泊療養、入院等の対応について伺う。また、現在の完治者、療養継続者数、死亡者数、HP上のその他の意味についても伺う。

また、同総合戦略策定に際し、意見として「二地域居住」という新しい指標設定を提案し、「調査研究の対象とする」との回答を得ている。その後の調査研究

A 幸手保健所から情報提供されている自宅療養、宿泊療養、入院等の数は、令和3年1月1日以降に月2回、時点集計したものであるため、1例目からの数は集計できない。

令和3年5月15日現在、陽性者180名の内訳は、療養継続者にあたる患者数が10名、完治者・死亡者を含む退院・療養終了が166名、その他が4名である。その他の意味は幸手保健所

所で経過を把握できない数で、

具体的には幸手保健所以外で健康観察する者の数を指す。
(健康福祉部長)



UR都市機構と進める多様性のある街づくりは



小林英雄議員

Q

UR都市機構は、賃貸住宅ストックの活用方法として、地方公共団体や民間事業者と連携し、団地の役割・機能の多様化を図る街づくりを進めるとしている。開発が行われる予定の幸手団地6街区は、駅から近く、路線バスも通っており、周辺には総合病院や保育所もある。これらの好条件を生か

A

UR都市機構とは、平成30年度から協議を重ねてきている。協議内容については、事業に関する総合的なものから各所管課での協議を要するし、団地住民にとっても、周辺住民にとっても、よりよい街づくりを行う為、子育て・教育・医療・福祉支援施設等多方面から様々な検討を行い、開発を協議すべきと考える。市の考えを伺う。

専門的なものまで、その範囲は多岐にわたる。同機構からは、幸手団地6街区の開発について、良好なまちづくりの実現を目指し、地域需要や市場動向を勘案するなどして今後決定する予定である旨の報告を受けている。

今後においても引き続き情報共有に努め、あらゆる角度から検討・協議してまいりたい。
(総合政策部長)

県道惣新田幸手線の危険なS字カーブ箇所について



海老沼隆夫議員

Q

県道惣新田幸手線の八代郵便局前を通過後のS字カーブ、道路の両側が木立に囲まれ、道路両端の歩道も狭く、人や車両の行き来が困難で極めて危険である。市民の危険を排除し、命を守るためにも、直ちに県に改善を求めるよう前回は発言している。八代郵便局先の右カーブを過ぎた次の左カーブ

A

このポールは歩行者保護の目的で路肩部分に設置されているものと思われる。しかし、このうち2本が路肩の中央付近に設置され、歩行スペースが少なくなっているため、埼玉県杉戸県土整備事務所に改善の要望を行いたい。
(建設経済部長)





枝久保喜八郎議員

ペットに関する防疫と防災の関連性について

Q

市内ドッグラン事業者とのペット避難協定を結ぶにあたり、幸手市では、60%台にとどまる狂犬病等の防疫率を高める必要がありますが、それらを条件に、市登録の犬について、ドッグランの平日利用を無料にするとの提案は、ペットの災害時避難及び防疫率向上の両面から意義あるものと考えます

A

ペットの避難について、様々な検討を行っています。現在、市内でドッグラン事業を行っている事業者と運営に関わっている商工会及び幸手市の三者による協定も検討しており、速やかに協定の締結について、進めたいと考えています。また、狂犬病等の防疫率を高めることは、避難の安全性を確保



(市民生活部長)

保するためには必要なことですが、これについては、協定締結を検討する中で、関係者と協議したいと思います。



青木 章議員

木村市長の裁量権を逸脱濫用した処分の対応

Q

平和記念式典に参列するために訪れた広島市での事件に関連して、戒告処分を受けた元市職員について、市公平委員会が処分を取り消すよう裁決しました。同委は、「服務規定に違反していたとまではいえない」と判断。市による懲戒処分は「合理的な理由がないにもかかわらず、平等原則に従っ

A

今回の処分について、裁量権を逸脱濫用した処分との認識はございませんので、自身の処遇についても考えてはございません。

(市長)

元職員に対しましては、公平委員会の裁決を尊重し、また、是正措置指示書に従い、未支給の勤勉手当の支払いを行いました。今回の件を真摯に受け止め、今後、このようなことが無いよう、市長として強い覚悟で綱紀粛正に努めてまいります。

新型コロナウイルスワクチン接種は



武藤 壽男議員

Q

新型コロナウイルス感染症から、市民の命を守る最大の方策は、ワクチン接種をいかに素早く多くの方に接種し、集団免疫を作るかが、市の最大の責務である。
5月に始まった高齢者に対する接種は、国では7月末までに完了と言われているが、本市の接種状況について伺う。

A

また、その後の施設従事者、基礎疾患をお持ちの方、更には、16歳以上65歳未満の皆さんにもできうる限り、早急な接種が望まれているが、今後のワクチン接種計画について伺う。
65歳以上の高齢者の接種については、5月6日より接種をはじめ、6月3日現在で4千294回の接種をしている状況である。今後、7月末までに2回目が接種できるよう

進めている。
65歳未満の方については、使用するワクチンの種類など、国からの情報がないため、詳細なスケジューリングは確定していないが、情報収集に努め、医師会等との調整を行い、実施体制を整える。
(健康福祉部長)

6月定例会 会期日程

- 6月1日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長提出議案一括上程、提案理由説明
- 6月2日・3日・4日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 6月10日(本会議)
 - ・議案に対する質疑・議案の委員会付託
- 6月11日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 6月14日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
- 6月15日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 6月22日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決・閉会

議会を傍聴しませんか

議会では日常生活にかかわる条例や事業の予算などを審議し、決定しています。ぜひ、傍聴にお出かけください。

6月定例会

傍聴者

23人の方が傍聴されました。

議会インターネット中継のアクセス件数

インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。

4月	160件	5月	87件	6月	1901件
----	------	----	-----	----	-------

の方が視聴されました。

幸手市議会からの

お知らせ

◆9月定例会の開催予定◆

令和3年9月定例会は、9月1日(水)から29日(木)までの29日間にわたって開催する予定です。

- 《9月定例会の主な内容》
- 9月1日
 - ・開会・会期の決定・報告事項・市長提出議案一括上程、提案理由説明
 - 9月2日・3日・6日
 - ・市政に対する一般質問
 - 9月10日
 - ・議案に対する質疑・議案の委員会付託
 - 9月13日・14日
 - ・文教厚生常任委員会
 - 9月15日・16日
 - ・総務常任委員会
 - 9月17日・21日
 - ・建設経済常任委員会
 - 9月29日
 - ・委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

※各会議は午前10時開始予定です。また、会議の予定は変更となる場合があります。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

◆議会中継のご案内◆

市議会の本会議については、インターネットによる中継を行っており、本会議の開会中にご覧いただける「ライブ中継(生中継)」と、いつでも視聴ができる「録画中継」の配信をしています。中継は、スマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。

議員の役職一覧

◎委員長 ○副委員長

議長 宮 杉 勝 男

副議長 小 林 啓 子

議会運営委員会委員 (7人)

○四 本 奈緒美 枝久保 喜八郎 ◎本 田 謡 子
 小河原 浩 和 藤 沼 貢 武 藤 壽 男
 大 平 泰 二

総務常任委員会委員 (10人)

坂 本 達 夫 海老沼 隆 夫 ○小 林 英 雄
 本 田 謡 子 ◎小 河 原 浩 和 小 林 啓 子
 松 田 雅 代 木 村 治 夫 青 木 章
 武 藤 壽 男

文教厚生常任委員会委員 (10人)

四 本 奈緒美 ○坂 本 達 夫 小 林 英 雄
 枝久保 喜八郎 宮 杉 勝 男 小 河 原 浩 和
 小 林 啓 子 ◎松 田 雅 代 藤 沼 貢
 大 平 泰 二

建設経済常任委員会委員 (10人)

四 本 奈緒美 ○海老沼 隆 夫 枝久保 喜八郎
 宮 杉 勝 男 本 田 謡 子 ◎木 村 治 夫
 藤 沼 貢 青 木 章 武 藤 壽 男
 大 平 泰 二

正副議長選挙 および常任委 員会委員改選

6月定例会の初日に、正副議長選挙が行われ、新議長に宮杉勝男議員、新副議長に小林啓子議員が再選されました。また、常任委員会委員の任期は2年とされており、幸手市議会委員会の改選が行われました。新たな委員会の構成は次のとおりです。

議会の組織図

市 議 会

本 会 議

委 員 会

議会運営委員会

常 任 委 員 会

特 別 委 員 会

○市長や議員が提出した議案などについて、質疑、討論、採決など議会としての最終意思の決定を行います。

○市政全般について、市長や執行機関の考えを問います。

○議会に提出された議案などを、少人数の議員で専門的・能率的に審査するために設置される議会の内部機関。

○議会を円滑に運営するため、議会運営の全般について協議し、意見調整を図る場として設置される委員会です。

○提出された議案などをより詳しく効率的に審査するために常設される委員会で、総務常任委員会・文教厚生常任委員会・建設経済常任委員会の3つの委員会があります。幸手市議会では議員は2つの常任委員会に所属しています。

○特定の事項について詳しく審査する必要があるときは議会の議決により付議された事件を審査します。

令和3年6月定例会 提出された議案の結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党市議団…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1 四本奈緒美	2 坂本達夫	3 海老沼隆夫	4 小林英雄	5 枝久保喜八郎	6 宮杉勝男	7 本田謡子	8 小河原浩和	9 小林啓子	10 松田雅代	11 木村治夫	12 藤沼貢	13 青木章緑	14 武藤壽男	15 大平泰二		
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて(専決第1号)幸手市税条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて(専決第2号)幸手市都市計画税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第28号	専決処分の承認を求めることについて(専決第3号)令和3年度幸手市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員承認	
議案第29号	幸手市税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	総務 賛成全員可決	
議案第30号	幸手市固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	総務 賛成全員可決	
議案第31号	幸手市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	文教厚生 賛成全員可決	
議案第32号	幸手市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	建設経済 賛成全員可決	
議案第33号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	総務 文教厚生 建設経済 賛成全員可決	
議案第34号	固定資産評価員の選任について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第35号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第36号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第37号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第38号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第39号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第40号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第41号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第42号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第43号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第44号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第45号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第46号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第47号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第48号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員同意
議案第49号	令和3年度幸手市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	—	賛成全員可決

(議員提出議案)

請願第1号	国のエネルギー基本計画に関する件	×	×	○	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	欠	文教厚生	賛成少数不採択
-------	------------------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	------	---------

議会広報編集委員	委員長	宮杉勝男
	副委員長	小林啓子
	委員	四本奈緒美
	委員	坂本達夫
	委員	海老沼隆夫
	委員	本田謡子
	委員	木村治夫

編集後記

経済財政運営と改革の基本指針「骨太の方針」が6月、閣議決定された。日本が直面する重要課題の解決へ道筋を示すとともに、来年度予算に向けた基本的な指針となるものだ。言うまでもなく喫緊の課題は、コロナ禍の収束である。その切り札となるワクチン接種に総力を挙げねばならない。コロナ後の経済成長に向けて骨太の方針では「子育て支援」「グリーン社会の実現」「デジタル化の加速」「地方の活性化」の四つを重点分野として挙げた。デジタル化の進展は、都市部よりも人口減少のスピードが速い地方にとって今後、重要課題となる。